

概要

オンサイトで実施可能な油汚染土壌の分析技術を開発し、環境対策の迅速で最適な対応を支援

ポイント

- ・「油汚染対策ガイドライン(環境省)」、「土壌汚染対策法」(対象:ベンゼン)に対応した手法を確立
- ・現地測定が困難であった土壌中油分に関してはペトロフラッグ法によるオンサイト測定技術を確立
- ・石油系の揮発性有害成分(ベンゼン等BTEX)に対しては可搬型ガスクロマトグラフによりオンサイト測定

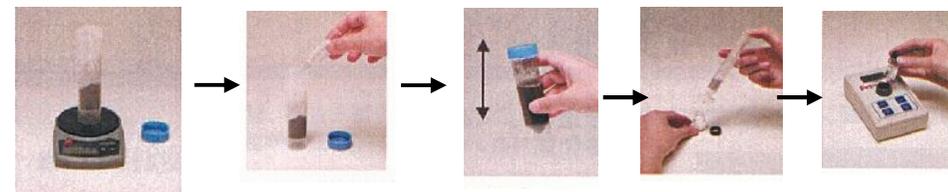
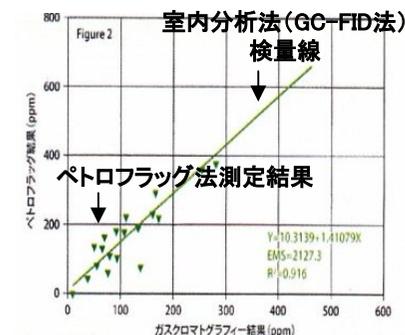
効果

- ・オンサイト油分測定技術により、現地で迅速なスクリーニング・絞り込みが可能(ラボ分析不要)
- ・ペトロフラッグ検討結果は土壌中の油分スクリーニング法のISO化(地盤工学会)に技術協力

出展部門

(株)テルム 環境エンジニアリング事業部 環境保全部
TEL 045-440-6432

■アルコール抽出-比濁法による油分(ガソリン、灯油、軽油、重油、機械油等)のオンサイト測定



①土壌試料を採取 ②抽出液を添加 ③振とう(約5分) ④反応液へ添加 ⑤濁度を測定

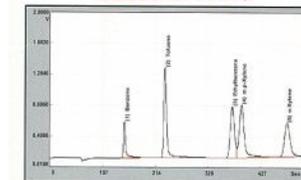
土壌試料採取から測定まで約10分

地盤工学会 (ISO TC190SC3WG10)で検討され、ISO化が期待される測定法

■揮発性油分のオンサイト測定(可搬型ガスクロマトグラフVoyager)



測定結果(クロマトグラフ)



BTEX(ベンゼン、トルエン、エチルベンゼン、キシレン)やトータルVOCなどの揮発性油分をオンサイト測定

※ 分析機器写真、データ:

柴田科学株式会社土壌中炭化水素簡易分析器資料、伯東株式会社Voyager資料より